

基本目標
1

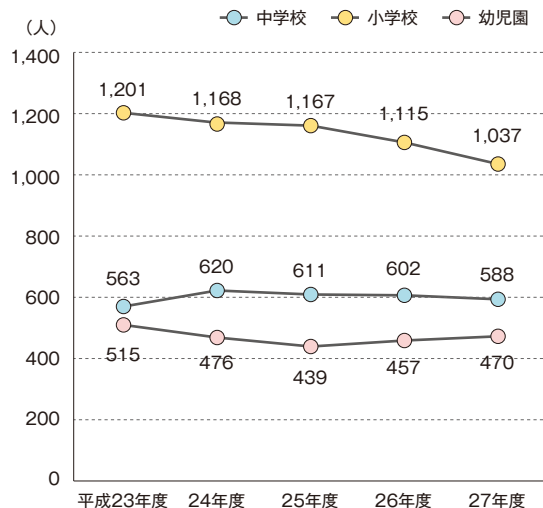
郷土愛と創造性を育む
こころ豊かなひとづくり

幼児・学校教育の充実

現状と課題

- 少子化が教育に及ぼす影響として、子ども同士で切磋琢磨する機会が少なくなっていることや親の過保護・過干渉により成長や自立に不可欠な経験が得られにくくなることなどが指摘されています。そのため、家庭や学校において、少子化時代の教育の在り方を検討する必要があります。
- 幼児教育においては、一人ひとりが集団生活のなかで学び、遊び、自らの体験を通じて「生きる力」の基礎を身につける教育が求められています。
- 学校教育については、創造性豊かな児童・生徒を育てるため、感動と活力ある教育を推進しています。さらに、多様な体験型の学習や対話型の学び合いなどを取り入れ、自分から工夫・創造する力を育む特色ある教育の充実が求められています。
- 社会情勢の変動に主体的に対応できる能力を育成するため、教育環境の ICT (情報通信技術)*化や英語教育など、教育環境の充実が求められています。
- 子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、いじめの早期発見や心の相談など、問題を抱えた子どもに対する支援の充実が求められています。

▶児童・生徒数



資料：神戸町資料（教育課）

まちづくりの指標

【 指 標 】	現 況 値	平成32年度	平成36年度
体験学習の実施回数 各小学校における町の良さや特性を活かした体験学習の年間実施回数	— (平成 27 年度)	10 回 / 年	→
神戸町教育委員会事務事業点検・評価 「幼児教育」「学校教育」に関わる項目の内、評価が 4 段階 (A・B・C・D) 中の A 評価 (順調に達成している) のものの割合	12.5% (平成 27 年度)	20%	30%
教育施設や教育環境が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合 (母数から無回答を除く)	83.4% (平成 27 年度)	85%	↗

目指すまちの姿（目標）と主要施策

（1）子どもたちの健やかな育成

- 「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を育成する幼児教育・学校教育を推進します。
- 幼児、児童、生徒一人ひとりの能力に応じた教育を受けることのできる体制を整えます。
- 人権教育の推進を図るとともに、子どもたちが抱える問題、いじめや不登校などに対する相談体制を強化し、安心して学校生活を送ることができる環境を整えます。
- たんぽぽ学園や通級指導教室の充実を図ります。また、さまざまな問題を抱えた児童、生徒に対応するため、相談窓口を開設します。
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、食育を推進します。
- 学校給食において、町内、県内で生産された食材の活用を推進し、地産地消を目指します。

（2）教育環境の充実

- 教育環境の ICT（情報通信技術）化*を進め、情報活用能力を高める授業を推進します。
- グローバル社会に対応できる人材の基礎的教育として、英語教育の充実を図ります。
- 日本語の理解が十分でない外国人児童生徒を支援できる体制を整えます。
- 多様化する教育内容への対応や防災拠点施設としての活用を視野に入れた教育施設の改修を進めます。
- 教育設備として、トイレなどの水回りの改修や全教室の冷暖房化を検討し、計画的な整備を図ります。
- 教職員の勤務の適正化と資質の向上を図ります。

（3）特色ある教育の推進

- 地域の歴史・文化や商工業、農業などの産業を学ぶ機会を拡充し、町の良さや特性を活かした教育により、郷土愛を育む教育を推進します。
- 豊かな人間性を育み、また、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばすため、各幼稚園・学校において体験型の学習を取り入れるなど、創意工夫のもとで教育活動を進めます。
- どの子にも分かりやすく、学びやすいユニバーサルデザイン*の視点を取り入れた授業を推進します。
- 障がいの早期発見・早期支援を行う体制を整備し、分かりやすく、開かれた特別支援教育を進めます。
- 広く学校情報を提供することで、開かれた学校づくりを進めます。

（4）学校・家庭・地域との連携の推進

- 🔥 持続可能な社会をつくるため、学校・家庭・地域でのさまざまな課題を自らの問題として考え、身近なところから解決に向けた取組ができる力を育む教育を推進します。
- 地区や PTA、各種ボランティア団体などと学校や家庭が協働で活動する機会を設け、相互交流を推進します。
- 進級による心の不安などを解消するため、幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携・接続を強化し、一貫した教育を推進します。

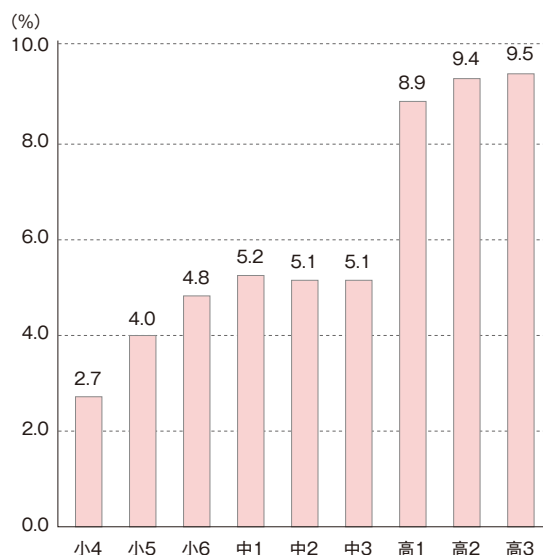
1-2

青少年健全育成の充実

現状と課題

- 少子化や核家族*化の進行、共働き世帯の増加を背景として、親子が触れ合う時間の減少や地域コミュニティの希薄化など、家庭や地域での教育機能の低下が懸念されています。青少年の健全な育成に向けては、家庭教育の充実はもとより、まち全体で青少年健全育成の取組を進める必要があります。
- 携帯電話やスマートフォンの普及に伴い、インターネットを介して青少年が巻き込まれる事件や犯罪、青少年間のトラブルなどの「ネットトラブル」が多発しています。ネットトラブルは低年齢化の進行が指摘されており、学校における情報モラル教育や保護者による管理（ペアレンタルコントロール*）などの取組を強化する必要があります。

▶メール・チャット・掲示板などで被害を受けたり、いやな思いをしたことのある生徒の割合



資料：平成27年度岐阜県教育委員会情報モラル調査
※調査対象は、県内すべての公立学校

まちづくりの指標

【指標】	現況値	▶ 平成32年度	▶ 平成36年度
家庭教育学級への参加者数 家庭教育学級への年間参加数	56人/年 (平成26年度)	▶ 70人/年	▶ 80人/年
ネットトラブル防止の研修会などの実施回数 ネットトラブルの防止を図るための研修会などの年間実施回数	— (平成27年度)	▶ 2回/年	▶ →

目指すまちの姿（目標）と主要施策

（1）家庭教育の充実・地域教育力の向上

- 親子がともに学び、成長することができるよう、幼稚園、小・中学校で開催されている家庭教育学級の充実を図るとともに、保護者に向けた情報発信を強化し、家庭教育学級の認知度の向上を図ります。
- 地区公民館事業を推進し、地域教育力の向上を図ります。
- 町内の各種団体で構成する「青少年健全育成町民会議」において実施している全町的なあいさつ運動、美化活動、道徳啓発の展開、善行表彰、少年の主張大会を継続していきます。
- 青少年が同年代の仲間や異なる世代の人々と交流できる機会や場の提供に努めます。
- 神戸町少年補導員、神戸町青少年育成推進員と連携して、青少年の見守り活動を実施します。
- 住民と一体となり、人権尊重の体制を推進します。

（2）「ネットトラブル」発生の抑制

- 児童・生徒を有害情報やトラブルから守るため、安全・安心な利用に向けたネットルールの制定やネットモラルの啓発により、「ネットトラブル」の未然防止に努めます。
- 関係機関との連携により、児童・生徒や保護者向け研修会の開催などを通して、家庭や地域におけるインターネットの適切な利用に関する教育を推進します。
- ネットトラブルに遭った場合の相談体制の整備、相談窓口の周知により、トラブルの拡大防止に努めます。

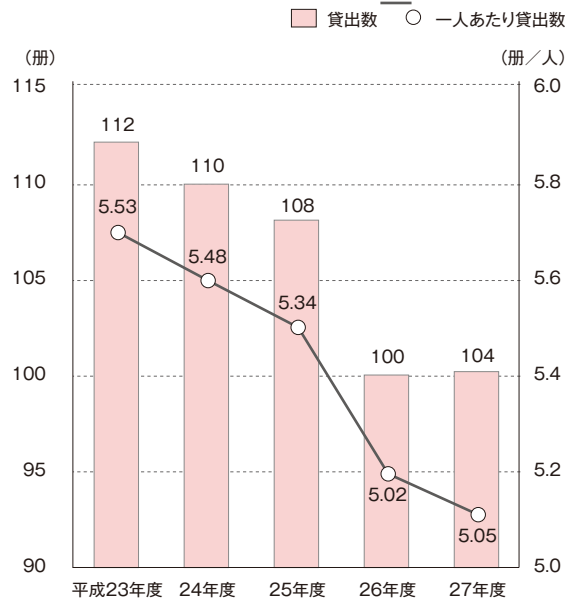
青少年健全育成大会



現状と課題

- 社会の成熟化、科学技術の発展や情報化の進行などを背景として、豊かで充実した生活を送るために自ら学習する意欲の高まりがみられます。本町では、これまでも各種講座やサークルの充実に努めてきましたが、今後とも多様化する生涯学習ニーズに対応するため、住民が自ら学習できる環境の充実が求められています。
- 住民一人ひとりが、主体的に生涯を通じて学習できるような情報提供や相談の体制を整えるとともに、社会教育に関する指導者の登録や紹介などの環境を整える必要があります。
- 町立図書館では、インターネットを活用した図書の検索・予約サービスの導入や夏季の開館時間延長、イベントの開催などにより利便性の向上、利用促進に努めてきました。しかし、読書離れ、活字離れが進んでおり、読書に親しむ機会を提供する必要があります。

▶ 図書貸出冊数



資料：神戸町立図書館
※貸出数は、一般書・児童書・雑誌・AVすべての資料の合計数

まちづくりの指標

【 指 標 】	現 況 値	平成32年度	平成36年度
生涯学習ボランティアの指導者登録者数 生涯学習ボランティアの指導者登録をしている住民数	47 人 (平成 27 年度)	60 人	70 人
住民 1 人あたりの図書の貸出冊数 町立図書館における住民 1 人あたりの図書などの年間貸出点数	5.1 冊 / 年 (平成 27 年度)	5.5 冊 / 年	6.0 冊 / 年
文化施設（図書館・公民館など）が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合（母数から無回答を除く）	80.2% (平成 27 年度)	82%	↗

目指すまちの姿（目標）と主要施策

（1）生涯学習施設・学習機会の充実

- 中央公民館や地区公民館などにおける住民ニーズを反映した各種講座の開講により、学習機会の拡充を図ります。
- 各種講座の内容充実を図り、意欲的に学習に取り組む環境を整えるとともに、学習成果の情報交換の場を提供します。

（2）生涯学習体制・指導者の充実

- 地域コミュニティの場として、住民主導による地区公民館における運営や活動の充実を図ります。
- 生涯学習指導者やボランティアの育成により、指導者の登録拡充を図ります。
- 学習機会の拡充に向けて、学習情報を積極的に提供します。

（3）読書機会の充実

- 生涯を通じた読書活動を推進するため、住民のニーズに応じた図書の拡充など、読書環境の充実を図ります。
- 「子ども読書活動」を通じて、幼年期から読書に親しむ機会を提供します。

公民館における学習講座



芸術文化の振興・文化遺産の保護、継承

現状と課題

- 本町は、日吉神社三重塔をはじめとする国指定の重要文化財や県・町指定の有形・無形文化財、日比野五鳳記念美術館など、優れた歴史・文化や芸術を有しています。社会構造や価値観の変化により、文化財の維持管理や地域文化の継承が困難となりつつあるなか、歴史・文化を財産として後世に引き継いでいくための取組が求められています。
- 歴史・文化を継承するために、郷土に対する意識を高め、優れた芸術文化にふれることで価値を見つめ直す機会を拡充するとともに、地域特性や人材を活かした芸術文化の創造が求められています。
- 歴史・文化、芸術の継承と新たな創造に向けては、文化財情報の一元管理及び専門的な知識をもつ方の助言・指導が必要となっています。

▶文化財指定の状況

(件)

文化財の種類			件数			
			国	県	町	計
有形文化財	建造物	建造物	1	2	4	7
	美術工芸品	絵画	0	7	19	26
		彫刻	3	4	43	50
		工芸品	0	4	23	27
		書跡	0	4	6	10
		典籍	0	0	0	0
		古文書	0	0	3	3
		考古資料	0	0	7	7
		歴史資料	0	0	4	4
無形文化財	無形文化財		0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗文化財		0	1	4	5
	無形民俗文化財		0	1	0	1
記念物	史跡		0	0	6	6
	名勝		0	0	0	0
	天然記念物		0	0	2	2
合 計			4	23	121	148

資料：神戸町資料（神戸町教育委員会）

まちづくりの指標

〔 指 標 〕	現 況 値	平成32年度	平成36年度
日比野五鳳記念美術館への入館者数 日比野五鳳記念美術館への年間入館者数	1,662 人 / 年 (平成 27 年度)	▶ 1,800 人 / 年	▶ 2,000 人 / 年
美術展への出品数 町美術展への作品の年間出品点数	195 点 / 年 (平成 27 年度)	▶ 200 点 / 年	▶ 220 点 / 年

目指すまちの姿（目標）と主要施策

（1）芸術文化の振興

- 住民の芸術・文化に触れる機会の充実と、芸術文化の鑑賞の場の提供に努めます。
- 子どもたちが、優れた芸術や伝統文化に触れることで、豊かな感性と創造性を育むとともに、地域における文化活動の活性化を図り、住民が質の高い芸術文化活動に触れられる機会の提供に努めます。
- 日比野五鳳記念美術館において、春季展、秋季展の開催や新たな作品展などの開催を企画することで、芸術文化を鑑賞する機会の提供を図るとともに、住民の文化意識の高揚に努めます。
- 神戸町美術展の充実により出品者数の増加を図るなど、美術・芸術への意識の高揚に努めます。
- 神戸町文化祭における住民の作品の展示、舞台発表などにより、芸術文化の創造を図ります。

（2）文化遺産の保護、継承

- 国・県・町指定の文化財や祭礼を後世に永く伝えるため、補助金の拡充などによる保護、継承に向けた取組の充実を図ります。
- 文化財をデータベース化し、一元的に管理するとともに、専門的知識を有する方による文化財の維持管理への助言や指導を進めます。
- 郷土の歴史・文化に直接ふれあい、学ぶ場を提供します。
- 伝統ある地域の祭りは、本町の文化財として、誰もが参加しやすく、地域のコミュニティの活性化や伝統文化の継承に寄与する行事となるよう支援します。

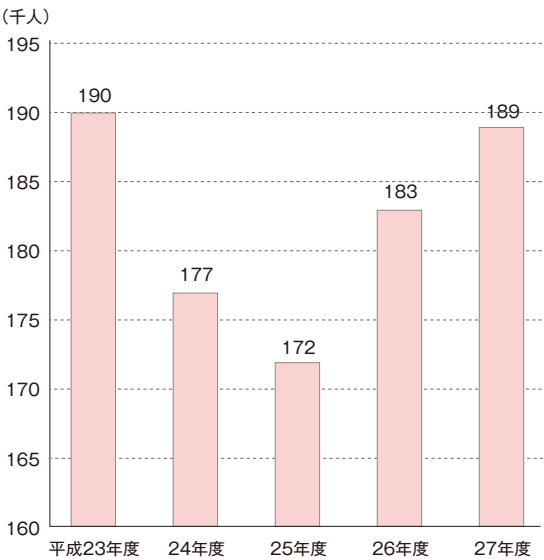
神戸山王まつり



現状と課題

- 生涯スポーツは、健康・体力増進、地域コミュニティの形成、日常生活を豊かにする活動としての役割を担っており、だれでも手軽に楽しむことができる軽スポーツやニュースポーツの普及が求められています。
- 本町では、スポーツ団体やクラブなどに所属する住民が増えており、スポーツニーズの高まりをみせています。今後とも初心者からエキスパートまで幅広い住民ニーズに対応するため、指導者の資質向上や有資格者の確保など、指導体制の充実を図る必要があります。
- 競技者の競技力の向上を図るため、公式規格に適合した施設の整備が求められています。また、老朽化が進行しているスポーツ関連機器などを更新する必要があります。

▶スポーツ施設の利用状況



資料：神戸町資料（生涯学習課）

まちづくりの指標

【 指 標 】	現 況 値	平成32年度	平成36年度
スポーツクラブ・団体などに所属する登録者数 スポーツ団体・クラブ・サークルなどに所属する人数	4,105 人 (平成 26 年度)	4,200 人	4,300 人
スポーツ指導者の登録者数 スポーツ指導者登録をしている住民数	605 人 (平成 26 年度)	630 人	650 人
スポーツ（施設、活動の充実度）が満足・普通と思う住民割合 アンケート調査の大変満足・やや満足・普通の回答割合（母数から無回答を除く）	81.6% (平成 27 年度)	83%	↗

目指すまちの姿（目標）と主要施策

（1）スポーツの普及

- 神戸町スポーツ推進委員やごうどスポーツクラブ、神戸町体育協会・神戸町スポーツ少年団などの連携により、会員・団員の増加に努め、軽スポーツ・ニュースポーツ、さまざまな世代が多様なスポーツ活動に参加できるよう、スポーツ、レクリエーション活動の普及・啓発を図ります。
- 高齢者向けのスポーツについては、介護予防の観点から、ごうどスポーツクラブなどの関係機関と連携して推進します。
- ごうどスポーツクラブや神戸町体育協会との連携により、若者をターゲットとしたスポーツ講座を開催し、若年世代の参加率向上及び地域コミュニティの強化を促進します。
- 中央スポーツ公園野球場を活用し、各種軟式野球大会の誘致や各年代に対応した軟式野球教室の開催などにより、軟式野球の競技力向上や競技人口の増加を図ります。
- 手軽に取り組むことができるウォーキングで健康づくりを推進するため、これまでの事業を更に拡大し、ウォーキング講習会、名所旧跡めぐりやノルディックウォーキング*などを実施することで、ウォーキングの更なる普及及び住民の健康増進を促進します。
- スポーツ活動を通じた地域コミュニティの維持・活性化を促進します。

（2）スポーツ団体の育成・連携

- 住民のだれもが、いつでも気軽にスポーツに親しむことができるスポーツ団体活動の充実を図ります。
- 地域総合型スポーツクラブであるごうどスポーツクラブや神戸町体育協会、神戸町スポーツ少年団などについて、継続的な活動支援を行うとともに、スポーツが住民にとってより身近なものになるよう学校、行政、各スポーツ団体が連携して、誰もが取り組める新たなスポーツイベントの開催やライフステージに応じたスポーツを振興し、スポーツによる「人づくり」・「地域づくり」を進めます。
- ごうどスポーツクラブや神戸町体育協会、神戸町スポーツ少年団、学校体育などの関係団体が一体となって、幼児から高齢者まで多くの人が集うスポーツコミュニティの形成を図ります。

（3）スポーツ施設・機器の充実

- ごうど中央スポーツ公園の再整備を推進し、施設の充実を図ります。
- ごうど中央スポーツ公園、町民体育館、下宮・西座倉テニスコートなどの既存施設や機器について、適正な整備及び維持管理を図ります。

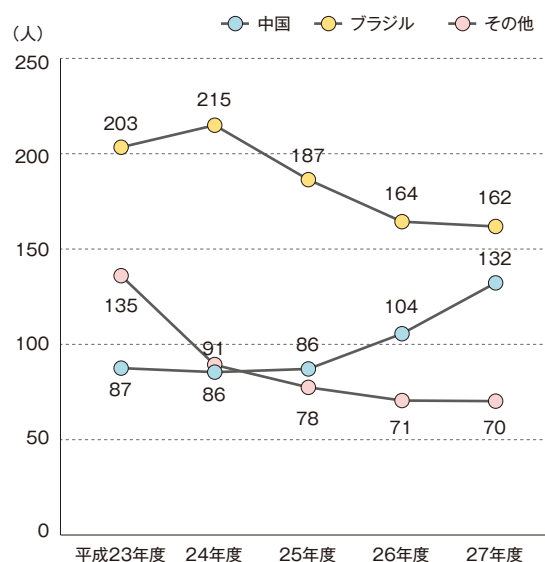
1-6

国際化の推進

現状と課題

- 情報通信網の発達やアジア諸国などの経済成長に伴いグローバル化*がますます進展しており、県内においても外国人観光客や海外企業の誘致に向けた取組が加速しています。こうした著しい国際化の進展に対応するため、国際化に対する意識の啓発・普及、交流機会の増進を図り、相互理解を深めることが求められています。
- 本町では、364人（平成27年現在）の外国人住民が暮らしています。外国人住民の総数は減少しつつありますが、言語や生活習慣の違いによる誤解や偏見をなくし、国籍にとらわれず、地域コミュニティの一員として安心して生活できる環境の整備に努める必要があります。

▶外国人登録人口



資料：神戸町住民基本台帳（住民環境課）

まちづくりの指標

【 指 標 】	現 況 値	▶ 平成32年度	▶ 平成36年度
行政情報の外国語表記数 行政情報のパンフレットなどの外国語による表記件数	4 件 (平成 27 年度)	8 件	10 件
公共施設内外国語併記案内板などの設置数 公共施設内の外国語を併記した案内板などの設置件数	— (平成 27 年度)	3 件	6 件

目指すまちの姿（目標）と主要施策

（1）国際化意識の啓発・普及

- 学校教育、生涯学習などのあらゆる機会を通じて国際化に対する意識を啓発し、国際交流を促進するための体制づくりに努めます。
- 神戸中学校生徒海外派遣の継続的な実施と併せて、幼稚園や小学校における外国人講師による英語教育の充実など、国際化に対応できる人材育成を進めます。
- 社会教育活動などと連携し、企業などの支援を得ながら外国人居住者との文化交流を深めます。

（2）外国人への情報提供の充実

- 外国人居住者が不自由なく日常生活を送れるような行政情報の提供や外国人訪問者に対する多言語表示の看板・パンフレット作成など、目的に合わせた情報提供の手法の整備を図ります。

国際交流

